

# パイナル フォーム

## 総合カタログ



01

### 運送中破損に対する無料保証

商品には万全を期しておりますが、万が一輸送破損（角欠け、割れ等）がございましたら、7日以内にご連絡ください。返品・交換をさせていただきます。

02

### サイズ間違いに対する保証

万が一お客様の発注サイズ間違いがあった場合でも、14日以内でしたら、商品代金の50%（最大10,000円まで）を弊社負担にて製作いたします。

03

### お客様が破損させた場合も保証

万が一お客様が誤って破損させた場合でも、20日以内でしたら再作成に必要な商品代金の70%（最大15,000円まで）を弊社負担にて作成いたします。



### パイナルフォームとは？

松原産業が製造・販売する戸建住宅用の発泡スチロール(EPS)断熱材のことを言います。発泡スチロール断熱材は、南極で40年間に渡ってほとんど劣化しないことが証明されている長期安定の断熱性能を誇ります。

### 50年、製造し続けてきた発泡スチロールのプロ集団が考案

1969年から発泡スチロールの製造をスタートし、これまで魚箱をはじめとする200種類以上の「パイナルコンテナ」、家電の緩衝材、二次元曲線加工や文字加工、三次元形状カット等を施した造形品など、あらゆる発泡スチロールの可能性を追求し続けてきた松原産業が企画・開発した発泡スチロール断熱材がパイナルフォームなのです。



 **松原産業株式会社**

福井県越前市矢放町4-7  
TEL:0778-23-2353 FAX:0778-24-4790  
URL <https://dannetsuzai.jp/>



家を建てるとき、ないがしろにされがちな…

# 断熱材

## なぜ!?

目に見えない場所だから?

コストを抑えなきゃ…  
工務店社長

工務店スタッフ  
どれでもいいや…  
(適当)

キッチンやお風呂の希望優先!  
施主の奥様 A

施主の奥様 B  
正直、どれも効果は変わらないんじゃない…

自分たちが長く住む家だから、「住み心地」のことも考えてみよ~

- 断熱材を適切に施工しないと断熱性能が低下する
- 01 **断熱性能**  
熱を逃がさない  
熱を入れない
  - 02 **劣化**  
断熱材の効果が年月を経て落ちると後々苦勞する…
  - 03 **スキマ**  
断熱材のスキマから空気が入り出ると意味がない

“断熱性能の長期安定性”は家づくりに欠かせない要因です。

パイナルフォームを選ぶと「夏は過ごしやすく冬は暖か~い」を長期で実現!!

## パイナルフォームの

# 5つの強み・特徴

いくつもある断熱材とパイナルフォームはどう違うの?!

01



### 素材は発泡スチロール

保温・保冷ボックスなどに使われているところからもわかるように、98%が空気できている発泡スチロールは寒さや暑さを通しません。温かいものは温かく、冷たいものは冷たく保つ機能に優れ、住まいの断熱材としても効果を発揮。湿気からも家を守ります。

02



### 長期安定の断熱性能

発泡スチロール協会が、他の様々な断熱材とともに3年間の経時変化を調査した結果、断熱性能の変化が他の断熱材と比較して極めて少ないことが実証されました。長く住み続けても安心できる断熱材と言えます。カビや腐食にも強いので、その観点からも長持ちが立証されています。

03



### 工期短縮のプレカット納品

パイナルフォームは、松原産業の自社工場で作成してからお届けする業界初の“フルプレカット”対応。現場での作業が大幅に削減されるので、工期短縮が実現可能。少量から1棟フルプレカットまで柔軟に対応いたします。

04



### 環境に優しいエコ素材

発泡スチロールを構成する要素の中で、石油はわずか2%。さらにパイナルフォームはノンフロン・ノンホルムアルデヒドなので環境にやさしい断熱材です。

05



### 工事中の端材が少ない

あらかじめジャストサイズにプレカットして納品するので、端材が少なくすむのがパイナルフォームの大きな特徴。産廃費用の削減に繋がる上に現場の美化に大きく貢献いたします。本社のある北陸近郊では「端材回収ボックス」を設置し、若干発生する端材の回収も行っております。

# 発泡スチロール

パインフォームは発泡スチロール(EPS)断熱材です。

断熱性・緩衝性などの特性を有する、  
ビーズ法ポリスチレンフォーム断熱材です。  
優良断熱認識登録製品  
(パインフォーム認証登録番号 MS14C001)  
**ビーズ法ポリスチレンフォーム (EPS)**

「Expanded Poly-Styrene」の頭文字をとって「EPS」と呼ばれており、ドイツで生まれた代表的な発泡プラスチック系の断熱材です。ポリスチレン樹脂と炭化水素系の発泡剤からなる原料ビーズを予備発泡させた後に、金型に充填し加熱することによって約 30 倍から 80 倍に発泡させることによって約 30 倍から 80 倍に発泡させることができます。金型形状をかえることで様々な形状の製品をつくるができます。

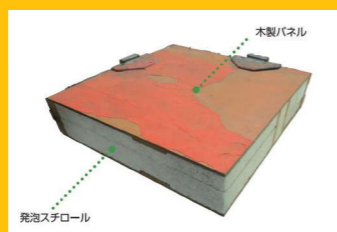
発泡スチロール協会  
公式サイト



# 長期安定の断熱性能

## 南極・昭和基地の断熱材として活躍した発泡スチロール

発泡スチロールは、1957 年第一次南極観測隊にて建てられた昭和基地の断熱材として使われ、最低気温 -50℃の南極で隊員たちを守りました。40 年後に南極の風雪に耐えた EPS 建材を調査したところ、建築当初と比べて断熱性能がほとんど劣化していないことが建築学会によって確認されています。



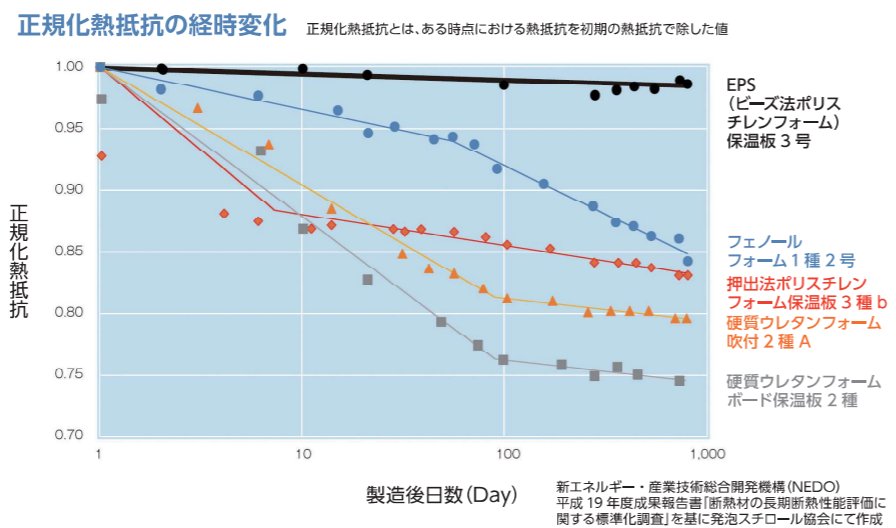
南極昭和基地壁面



第一次隊建設風景

## 熱伝導率の長期安定性

パインフォームは、発泡した原料ビーズの気泡に空気を閉じこめることで断熱性能を発揮しています。そのため 100 年以上に渡り安定した熱伝導率を維持できる断熱材なのです。以下のグラフに示すように「EPS断熱建材の断熱性能の経時変化は他の発泡プラスチック断熱材と比較して、極めて少ない」事が実証されました。“断熱性能の長期安定性”は快適な生活空間の確保・維持、住宅の長寿命化と価値の継続に欠かせない要因です。長期の断熱性能の変化が極めて少ない事が実証された「EPS断熱建材」は、住宅の新築時点だけでなく、長く住み続けても安心出来る断熱材と言えます。



## 優良断熱材認証

パインフォームは平成 27 年に一般社団法人日本建材・住宅設備産業協会からの「優良断熱材認証」を受けています。  
※詳細は P8 をご覧ください



# 工期短縮の プレカット納品

プレカットとは、生産工程において「あらかじめ切断しておく」ことを意味します。

# 業界初 フルプレカット

## オーダーカットに対応

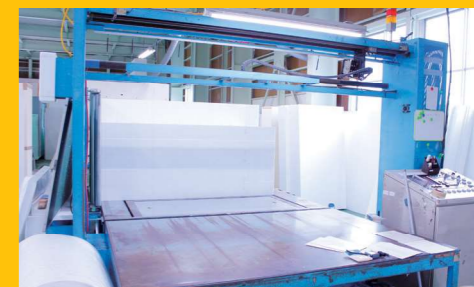
## プレカットのメリット

自由設計に  
合わせられる

現場での  
カット加工  
不要

工期日程の  
短縮

天候を  
気にせず  
施工可能



## ニクロムカット機

弊社のカット工場にあるニクロム特殊カット機で、ご希望の寸法と形状にカット、加工してから納品させていただきます。



巾・長さ・厚みをミリ単位で、一枚一枚カットすることが可能ですので、ご希望をお申し付けください。



プレカットして納品することにより、現場でカットする手間が省け、施工もスムーズになりその結果、工期が短縮されます。さらに、断熱材施工後に発生する端材(ゴミ)が非常に少なくなるという利点もあり、お施主様にも安心してご利用いただけます。

# 環境に優しい エコ素材

パイナルフォームの環境対応

# 工事中の 端材が出ない

プレカット加工後に  
納品することにより、  
現場でほとんどゴミが  
出ないことも  
パイナルフォームの  
大きな特徴です。

## ノンアスベスト

パイナルフォームは、原料そのものにアスベストを全く含んでおりません。また、原料製造時及び成型時にアスベストを使用しておりませんので、安心してご使用いただけます。

## ノンホルムアルデヒド

パイナルフォームは、原料ビーズ製造及び発泡体形成時に、ホルムアルデヒド・クロルピリホスは使用しておらず、平成 15 年(2003 年)7 月 1 日施行の改正建築基準法「シックハウス対策」でも規制対象となるホルムアルデヒド発散建築材料(17 種)には、該当しません。

## ノンフロン

パイナルフォームの原料ビーズを、50 倍にふくらませる発泡剤は、ブタンやペンタンなどの炭化水素製品で、オゾン層に影響を与える特定フロン(地球温暖化係数の高い代替フロン類)は使用されていません。

## ノン HBCD

※ HBCD= 難燃剤ヘキサブロモシクロドデカン

平成 25 年 4 月末に開催された「残留性有機汚染物質に関するストックホルム条約」(POPs 条約)の第 6 回締約国会議において、HBCD の廃絶が正式に決定されるに伴い、日本国内においても「化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律施行令の一部を改正する政令」が閣議決定され、国内メーカー各社は、このような動きに先立ち、平成 20 年(2008 年)以降ノン HBCD 原料への切り替えを進め、平成 25 年(2013 年)末以降は HBCD を使用しない原料に完全に切り替わりました。

## リサイクル

パイナルフォームは単一素材であるため、分別が容易で、熱や溶剤・圧縮により体積を減らす「減容」が可能であり、リサイクル特性に優れた素材です。現在、マテリアル、ケミカル、サーマルの 3 種類の 방법으로リサイクルされています。



断熱材の切り屑や粉が風などで  
近隣に飛散することがなく、  
掃除も簡単。  
常にキレイな現場に保てます。

# 02

発泡スチロールはリサイクルされ、その後  
様々なプラスチック製品、エネルギー源と  
して採用され有効に活用されていきます。



## グリーン購入法適合

2000 年 5 月制定「国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律(グリーン購入法)」では、国等が重点的に調達を推進すべき環境物品等の「分野・品目」と、その「判断基準」を基本方針として定めています。(21 分野 276 品目 ※2019 年 2 月現在)

パイナルフォームはグリーン購入法に適合しており、地球温暖化・オゾン層破壊に配慮した商品です。

2018年実績

発泡スチロールの  
リサイクル率

90.8%

マテリアル  
リサイクル  
52.8%

サーマル  
リサイクル  
38.0%



発泡スチロール協会  
マスコットキャラクター「エブシーくん」

発泡スチロール協会の 2018 年度調査では、リサイクル実績は 90.8 パーセントとなっております。リサイクル・CO2 削減が声高に叫ばれている現在、わたしたちの自社製品はエコ素材であると誇りをもって営業活動に取り組んでいます。

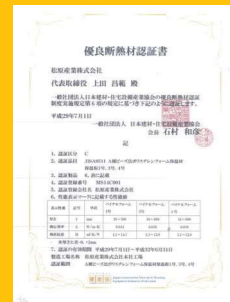
# パイナルフォームの基本物性

## 断熱性能表

商品名及び断熱材の種類	パイナルフォーム1号 優良断熱材認証	パイナルフォーム3号 優良断熱材認証	パイナルフォーム4号 優良断熱材認証	JIS A 9521 ビーズ法 ポリスチレン フォーム1号	JIS A 9521 ビーズ法 ポリスチレン フォーム2号	JIS A 9521 ビーズ法 ポリスチレン フォーム3号	JIS A 9521 ビーズ法 ポリスチレン フォーム4号
密度 (kg/m)	30以上	20以上	15以上	30以上	25以上	20以上	15以上
熱伝導率 (W/m・k)	0.034以下	0.036以下	0.039以下	0.034以下	0.036以下	0.038以下	0.041以下
断熱区分	D	C	D	C	D	C	B
圧縮強さ (N/cm)	26.1 (実測値)	14.5 (実測値)	10.7 (実測値)	16以上	12以上	8以上	5以上
曲げ強さ (N/cm)	46.6 (実測値)	29.9 (実測値)	23.2 (実測値)	32以上	25以上	18以上	10以上
吸水量 (g/100cm)	0.04 (実測値)	0.01 (実測値)	0.02 (実測値)	1.0以下	1.0以下	1.0以下	1.5以下
透湿係数25mm (ng/m <sup>2</sup> ・s・Pa)	113 (実測値)	156 (実測値)	150 (実測値)	145以下	205以下	250以下	290以下
最高使用温度 (°C)	70						

※パイナルフォームの実測値は、保証値ではありません。

## 優良断熱材認証



一般社団法人日本建材・住宅設備産業協会では、優良な断熱材を認証し、「優良断熱材認証マーク」を表示する制度を運用しています。

本認証制度は、製造販売する事業者が認証された製品に性能表示マークを表示し、その中で熱性能を熱抵抗値 (R 値) 等の数字で表現するため、消費者が同じ尺度で異なる種類や事業者の断熱材の性能を比較できる制度です。性能区分表示ではなく数値表示なので、平成 24 年に改正された省エネルギー基準で必要となった一次エネルギー消費量の計算にも利用できます。

パイナルフォームは平成 27 年にこの優良断熱材認証を受けております。

## 性能表示マークに記載する性能値

表示性能	記号	単位	パイナルフォーム1号	パイナルフォーム3号	パイナルフォーム4号
厚さ	t	mm	36～500	38～500	41～500
熱伝導率	λ	W/(m・K)	0.034	0.036	0.039
熱抵抗値	R	m <sup>2</sup> ・K/W	1.1～14.7	1.1～13.9	1.1～12.8

※厚さ公差 -0、+2mm

## 平成 28 年省エネルギー基準 使用基準対応 EPS の厚さ

- ・「建築物のエネルギー消費性能の向上に関する法律 (建築物省エネ法) の仕様基準 (国土交通省告示第二百六十六号) の「断熱材の熱抵抗の基準」に適合するために必要な EPS の厚さに換算したものです。
- ・表中の EPS 厚さは、仕様基準に適合する EPS1 号または 4 号 (JIS A9521) の厚さを 5mm 単位で切り上げたものです。

### 地域区分

#### 1～8 (8区分)

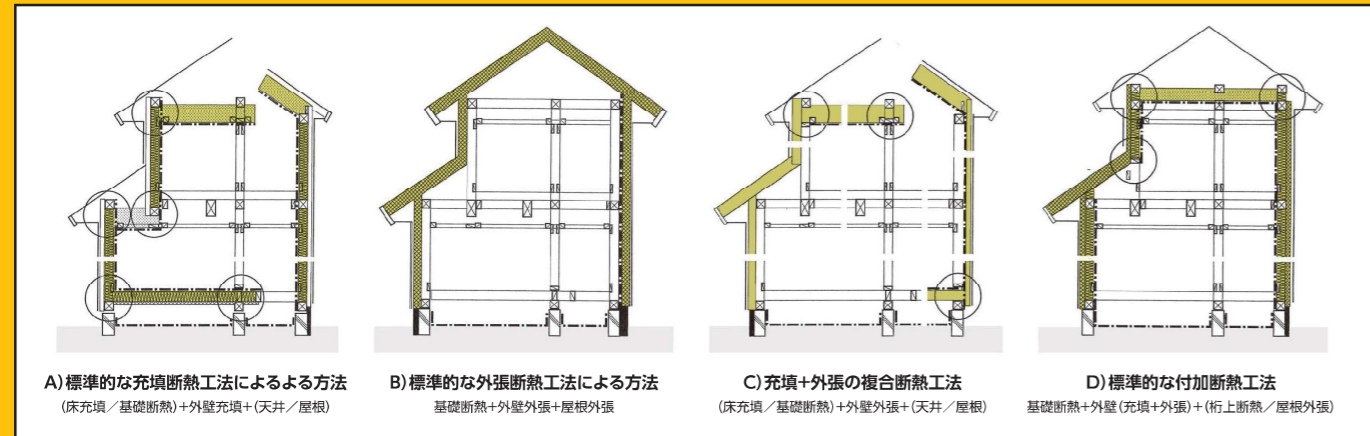
地域区分の詳細は、「建築物のエネルギー消費性能の向上に関する法律 (建築物省エネ法)」の国土交通省告示第二百六十五号をご参照ください。

住宅の種類	断熱材の施工方法	部位	熱抵抗 [(m <sup>2</sup> ・K)/W]	地域区分						
			EPS厚さ (mm)	1及び2	3	4,5,6及び7	8			
木造の住宅	充填断熱工法	屋根 または天井	屋根	熱抵抗 6.6 EPS厚さ 225 (1号)	4.6 160 (1号)			—		
			天井	熱抵抗 5.7 EPS厚さ 195 (1号)	4.0 140 (1号)			—		
		壁	熱抵抗 3.3 EPS厚さ 115 (1号) 135 (4号)	2.2 75 (1号) 90 (4号)		—				
			外気に接する部分	熱抵抗 5.2 EPS厚さ 180 (1号) 215 (4号)	3.3 115 (1号) 135 (4号)		—			
		床	その他の部分	熱抵抗 3.3 EPS厚さ 115 (1号) 135 (4号)	2.2 75 (1号) 90 (4号)		—			
			外気に接する部分	熱抵抗 3.5 EPS厚さ 120 (1号)	1.7 60 (1号)		—			
		土間床等の外周	その他の部分	熱抵抗 1.2 EPS厚さ 45 (1号)	0.5 20 (1号)		—			
			屋根 または天井	屋根	熱抵抗 6.6 EPS厚さ 225 (1号)	4.6 160 (1号)			—	
		枠組壁工法の住宅	充填断熱工法	屋根 または天井	天井	熱抵抗 5.7 EPS厚さ 195 (1号)	4.0 140 (1号)			—
					壁	熱抵抗 3.6 EPS厚さ 125 (1号) 150 (4号)	2.3 80 (1号) 95 (4号)		—	
				床	外気に接する部分	熱抵抗 4.2 EPS厚さ 145 (1号) 175 (4号)	3.1 105 (1号) 130 (4号)		—	
					その他の部分	熱抵抗 3.1 EPS厚さ 105 (1号) 130 (4号)	2.0 70 (1号) 85 (4号)		—	
土間床等の外周	外気に接する部分			熱抵抗 3.5 EPS厚さ 120 (1号)	1.7 60 (1号)		—			
	その他の部分			熱抵抗 1.2 EPS厚さ 45 (1号)	0.5 20 (1号)		—			
又は、木造・鉄骨造の住宅	又は、外張断熱工法			屋根または天井		熱抵抗 5.7 EPS厚さ 195 (1号)	4.0 140 (1号)			
				壁		熱抵抗 2.9 EPS厚さ 100 (1号)	1.7 60 (1号)		—	
				床	外気に接する部分	熱抵抗 3.8 EPS厚さ 130 (1号)	—			
					その他の部分	熱抵抗 — EPS厚さ —	—			
				土間床等の外周	外気に接する部分	熱抵抗 3.5 EPS厚さ 120 (1号)	1.7 60 (1号)		—	
					その他の部分	熱抵抗 1.2 EPS厚さ 45 (1号)	0.5 20 (1号)		—	

# パイナルフォームの断熱工法例

## 断熱工法のパターン

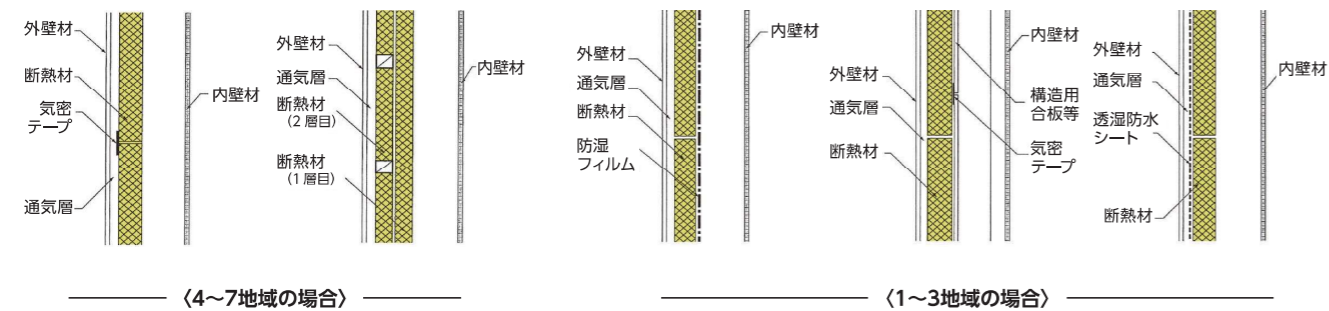
パイナルフォームを使用した充填断熱工法、外張断熱工法における一般的な断熱部は、工法との組み合わせにより下図の様な例があります。



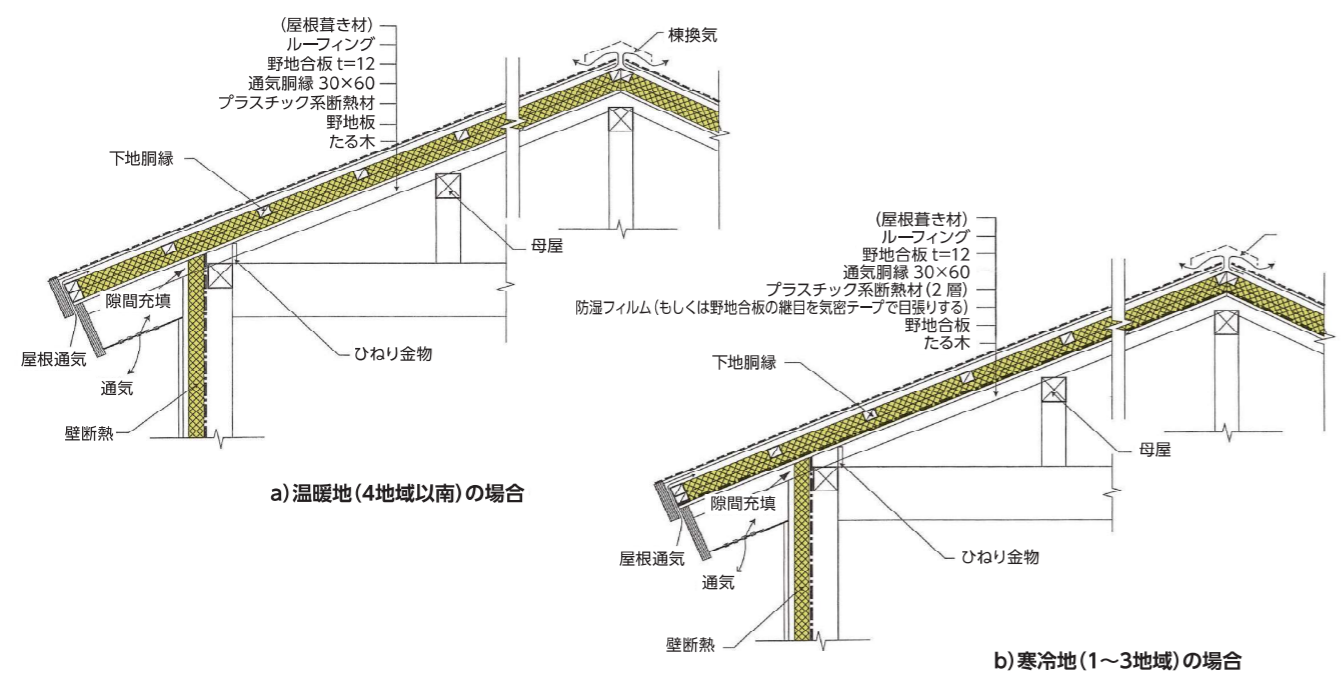
## 木造住宅におけるパイナルフォーム施工例

パイナルフォームを使用した施工例を各部位毎にご紹介します。(※地域区分の詳細は P9 をご覧ください)

### 1 外張断熱工法・壁断熱 各地域別の防湿仕様の例です。



### 2 外張断熱工法・屋根断熱 設計例と各地域の外壁との取合部の施工例です。



## 防火構造認定

ビーズ法ポリスチレンフォーム (EPS) の防火構造 (建築基準法第 2 条第 8 号) 国土交通大臣認定 (EPS 防火構造認定) は、日本フォームスチレン工業組合に加盟する断熱建材を取り扱う 62 社と、EPS 原料を製造販売する発泡スチレン工業会の 5 社によって共同で取得しました。

### EPS 防火構造認定一覧表

建築基準法第 2 条第 8 号、性能評価の対象条文：建築基準法施工令第 108 条 (防火構造、外壁、耐力)

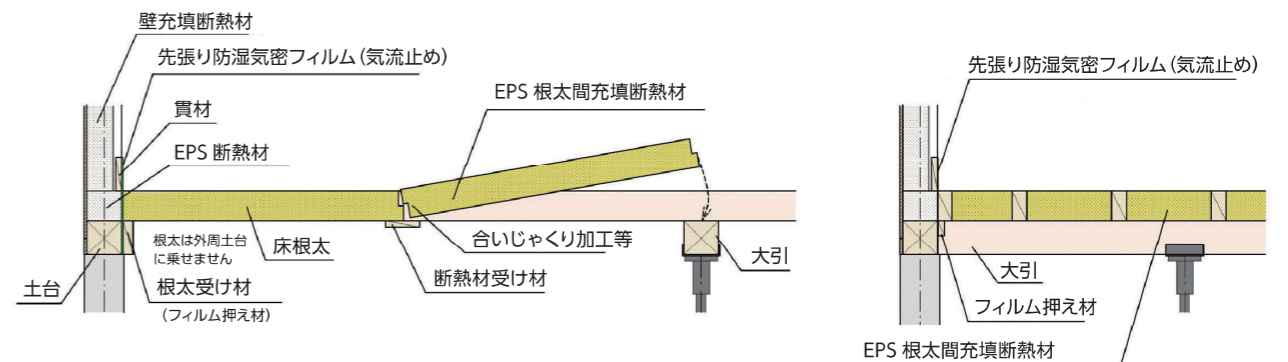
構造・工法		品目名		認定番号
従来木造工法	EPS 充填	外装材 釘留め	ビーズ法ポリスチレンフォーム保温板充填/木繊維混入セメント・けい酸カルシウム板表張/せっこうボード裏張/木製軸組造外壁 (真壁・大壁)	PC030BE-0345
		外装材 金具留め	ビーズ法ポリスチレンフォーム保温板充填/木繊維混入セメント・けい酸カルシウム板表張/せっこうボード裏張/木製軸組造外壁 (真壁・大壁)	PC030BE-0357
	EPS 外張	外装材 釘留め	木繊維混入セメント・けい酸カルシウム板表張/ビーズ法ポリスチレンフォーム保温板張/せっこうボード裏張/木製軸組造外壁 (真壁・大壁)	PC030BE-0351
		外装材 金具留め	木繊維混入セメント・けい酸カルシウム板表張/ビーズ法ポリスチレンフォーム保温板張/せっこうボード裏張/木製軸組造外壁 (真壁・大壁)	PC030BE-0363
枠組壁工法	EPS 充填	外装材 釘留め	ビーズ法ポリスチレンフォーム保温板充填/木繊維混入セメント・けい酸カルシウム板表張/せっこうボード裏張/木製軸組造外壁	PC030BE-0369
		外装材 金具留め	ビーズ法ポリスチレンフォーム保温板充填/木繊維混入セメント・けい酸カルシウム板表張/せっこうボード裏張/木製軸組造外壁	PC030BE-0375
	EPS 外張	外装材 釘留め	木繊維混入セメント・けい酸カルシウム板表張/ビーズ法ポリスチレンフォーム保温板張/せっこうボード裏張/木製軸組造外壁	PC030BE-0381
		外装材 金具留め	木繊維混入セメント・けい酸カルシウム板表張/ビーズ法ポリスチレンフォーム保温板張/せっこうボード裏張/木製軸組造外壁	PC030BE-0387

### EPS 防火構造 8 認定の使用許諾書について

上表に示す 8 つの国土交通大臣認定は、建築基準法第 68 条の 26 (構造方法等の認定) の規定に基づき、申請者である日本フォームスチレン工業組合に対し、国土交通大臣が認めたものです。そのため、日本フォームスチレン工業組合が当該認定の通常使用権を認めた各社が、その効力をお客様各位にご提示する際は、工業組合発行の仕様許諾書を添付して認定書をご提出いたします。

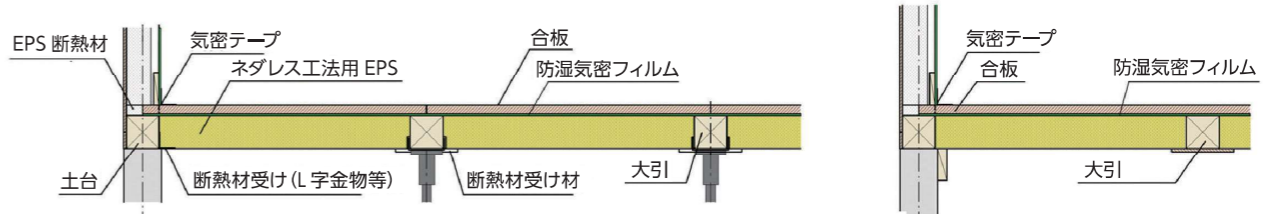
### 3 床断熱工法 パイナルフォームを使用した施工例を各部位毎にご紹介します。

#### a) 根太間の充填断熱 根太工法



枠組壁工法 (ツーバイフォー工法) の床は @455mm で床根太が設けられます。床根太のせいが大きい場合は 3m 以内でこぼり止めを設けます。在来木造工法の場合は、3 尺～6 尺ピッチ (910～1,820mm) の土台・大引の上に床根太を乗せ掛ける従来型と、根太を落とし込み (欠込み) や根太受けで受ける) 根太材と梁材の天端を揃えるプラットホーム工法があります。

#### b) 大引き間 (ネダレス) の充填断熱 剛床工法



ネダレス工法はスパン 3 尺 (910mm)、梁せい 3 寸 5 分～4 寸程度 (105～120mm) の床大引を組み、厚さ約 30mm のパーティクルボード類を大引の上に直貼りする床構造です。床根太を施工しない合理化工法 (厚い床面材が根太代わり) であるとともに、土台に面材を直接固定できるため、床構造の面内剛性を大幅に向上でき、断熱材施工が簡潔に行える特長があります。

# パイナルフォームを選ぶ理由

パイナルフォームを採用されているお客様にその理由を伺いました。

## お客様インタビュー 01

### “受け継がれる住まい”という理念に適した理想の断熱材です。

松原産業さんとは、5年前の「福友会」という会合で事務局の人から紹介していただいてからの付き合いです。魚のトロ箱を作る会社が断熱材を作るというのが発想として面白いと思いました。

昔はグラスウールやロックウール、羊毛など様々な素材の断熱材を使っていましたが、どれもコスト的なバランスを考えると良くない。色々断熱を研究してきて、福井の風土には地熱を利用しない方がいいことが分かりました。パイナルフォームは湿気の多い福井の環境に適していて、コスト面もクリアしています。

また、断熱材としてまだ浸透していなかったで、うちの独自性も出しながら「断熱材として一番にしたい」という思いもありました。いま断熱材は「薄く軽く」が主流ですが、我々が研究したところ、敢えて厚くした方が有効性が高い。その考えにパイナルフォームは適していたんです。発泡スチロールは海の上のフイにも使われていて、潮風や風雪にも強く耐久性も証明されています。「受け継がれる住まいづくり」を実践している弊社の考えにも合致しています。

パイナルフォームをエーシンでは現在年間約 40 棟使用しています。永森でも今後メインで使わせていただく予定です。新しさも魅力ですが、課題もあると思います。今後も色々なアイデアをいただきながら共存共栄の関係を続けていきたいです。



永森建設株式会社  
株式会社エーシン 代表取締役社長  
**永森 芳信氏**

## お客様インタビュー 02

### 時代を先取る、エコロジーで縮まない断熱材

私たちは木造建築にこだわり、木造の特性を熟慮した緻密な設計が得意です。木は持続可能な天然資源で、枯渇性のエネルギーで作られる鉄骨や鉄筋コンクリート・セメントなどと比べ、省エネでエコロジー。そして、循環型地域経済をつくるための重大な要素であることが木造にこだわる理由です。住宅だけでなくオフィス系や工場など、建築設計事務所として私たちが関わるプロジェクトは多岐にわたります。

10 年程前に独自で調べ、憂慮していたことがあります。それはボード系断熱材が縮むこと。熱伝導率の低いガスをボードの中に閉じ込めて断熱性能を保つものは、そのガスが経年により抜けていき、それに伴って断熱材が縮んでしまうのです。施工時に高性能の断熱材を隙間なく入れたとしても、断熱材が縮んで隙間ができては元も子もありません。

そこで 5 年程前に見つけたのがパイナルフォーム。もともとガスが抜けた状態であるので、経年による収縮がありません。

さらにパイナルフォームは分別リサイクルも容易であり、性能面やコストバランスも含めて、私たちの理想に限りなく近い断熱材であると言えます。

エネルギー問題は昨今活発化している SDGs (持続可能な開発目標) の 1 つでもあります。企業も建材も、省エネやエコと向き合うことが求められる現代にあって、松原産業さんのパイナルフォームはボード系断熱材の分野ではナンバーワンの存在ではないでしょうか。

株式会社ヒヤッカ  
代表取締役

**丸山 晴之氏**



その他にもパイナルフォームを採用されたお客様から様々な声が寄せられています。



W 建築 様

土台・天井落とし込みの場合、本当に施工性が良い。ボード状断熱材の一番良い所はその点だと思う。



A フォース 様

様々な断熱材・工法を試してきた。多様な形状にカットできるのが面白いと思ったし、経年変化のしにくさも施主にとってメリットだと思う。

EPS の長期性能性。加工の自由性。施主寄りの材料。厚みの規格を持たないことで、他ボード系断熱材にはない大きい厚みでの設計もできる。



A 社 現場監督 様

850×1820 のような寸法にしたいとき、3'×6' 板をちょっとカットするのは面倒であり、カットしにくい。プレカットは助かっています。

土間仕上りのリビング等が増えている。断熱と高さを兼ねて厚みの大きい(250mm)断熱材を施工するとなった場合、パイナルフォームが良い。



S 社 様

土台伏を行うにあたり、多少の雨でも施工できるのが良い。

図面を渡して、プレカットして現場まで直送が強み。注文から現場納品までの流れがきちんと確立されていると思う。

剛床と桁間でパイナルフォームを施工する事によって、気密測定で良い結果が出る事が分かった。数値化したものをお客様に見せるし、工務店としても自信になる。



T 建築 様



Y ホーム 社長 様



H 建築工業 様



N 工務店 様



## よくある質問

- Q ▶ 全国発送は可能ですか?  
A ▶ 宅配業者にて全国発送対応いたします。
- Q ▶ パイナルフォームは濡れても大丈夫?  
A ▶ 水をほとんど吸わない性質があります。施工中の短期間の雨濡れでは性能低下はございません。
- Q ▶ 伸縮するような加工はできますか?  
A ▶ 表面にスリット加工を施すことが可能です。
- Q ▶ 直射日光は大丈夫なの?  
A ▶ 長期間紫外線に当たると表面が劣化します。養生等を行い、取り扱いにご注意ください。

その他ご不明な点がございましたらぜひお気軽にお問い合わせください。

お問い合わせ電話番号

**0778-23-2353**

9:00 ~ 17:00 ※土日祝日除く



代表取締役

**上田 昌範**

発泡スチロール特有の断熱性能を  
さらに極めて豊かな社会づくりに貢献する

発泡スチロールが日本で生産されるようになってから早半世紀。松原産業は製造・販売者として発泡スチロールが日本全体に普及する黎明期から携わっています。これまで時代のニーズに応えるべく多岐に渡る発泡スチロール製品を開発し、2003年からは戸建住宅用の断熱材「パイナルフォーム」を手がける運びとなりました。“お客様の困り事を解決したい”という想いを根幹とした行動理念の会社として、住宅業界に参入できることをとても嬉しく思います。地球環境にやさしい素材・発泡スチロールが持つ長期安定の断熱性能を、この先の家づくりにも大いに活用していただきたい。そして、パイナルフォームが、日本全国の住宅でより多く使われ、豊かな社会づくりに貢献できるよう、私たちはお客様の気持ちに寄り添い続けながら、さらなる性能向上を目指していきます。

会社の歴史

- 1875年に松原染料店から始まり、様々な事業を展開しながら140年以上に渡って事業を営む松原産業です。
- 明治 8年 福井県武生市蓬萊町にて、松原染料店を開設
- 昭和 19年 松原染料店代表・上田清戦死の為、上田きくゑが事業継承
- 昭和 43年 株式会社白山工芸を設立。木工品の販売を開始
- 昭和 44年 株式会社白山工芸を 松原産業株式会社 に改称
- 昭和 45年 武生市矢放町に高発泡スチロール成型工場を設立
- 平成 13年 上田安範社長、会長に就任。上田昌範常務、社長に就任
- 平成 15年 ISO9001:2000 認証取得
- 平成 17年 産業廃棄物処分業許可
- 平成 18年 「ESP 断熱建材 パイナルフォーム」ホームページ開設
- 平成 26年 優良断熱材認証取得

会社概要

- 商号：松原産業株式会社
- 代表者：代表取締役上田昌範
- 資本金：1,570万円（授權資本金 6,000万円）
- 創業：明治 8年
- 設立：昭和 43年 5月
- 従業員：53名（平成 29年 9月現在）
- 本社工場：福井県越前市矢放町 4-7
- 和田山工場：兵庫県朝来市和田山町野村
- 関連会社：ウエダ株式会社
- 事業内容：発泡スチロール製品の設計・製造  
染料・薬品・化成品の卸販売  
感染症対策機器販売

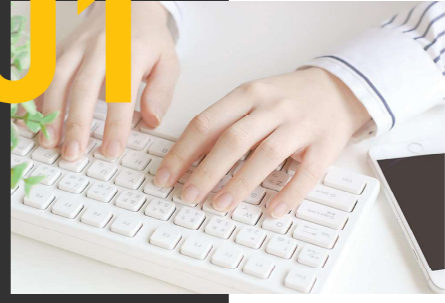
納品までの流れ

コスト削減

最短1週間でプレカットした商品を現場まで納品

ムダなくスッキリ施工！  
フルプレカットで必要枚数だけ！

01



02



03



04



ゴミが出ない  
天候を気にせず施工OK  
現場でカット作業が不要  
切り屑・ゴミ・粉がまき散らない  
⇒ご近所にも迷惑にならない

05



お問い合わせ

お電話・FAX・  
メール(専用フォーム)から  
お問い合わせ下さい。  
TEL:0778-23-2353  
(9:00～17:00 ※土日祝日除く)  
FAX:0778-24-4790  
MAIL: info@dannetsuzai.jp



ヒアリング

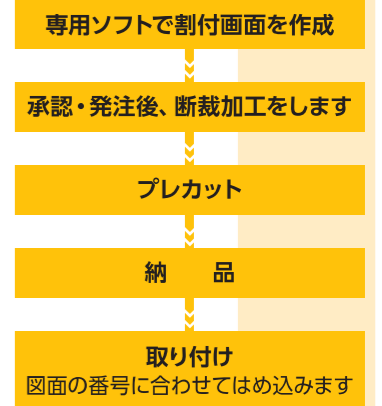
弊社が取り扱う断熱材にもいろいろ  
な種類があります。  
お問い合わせの際、おまかなご要  
望をお伝えください。

無料お見積り

お客様からのご要望に対して最適  
なご提案をさせていただきます。  
お見積りは無料です。

ご注文

お客様は木材土台伏図をご用意  
いただくだけ！CADデータ対応！



お支払い方法

- 銀行振込
  - クレジットカード
  - 代金引換
- からお選びください  
※必要な資材・副資材はご用意させて  
いただきます。  
※カット機等の器具は無料で貸し出しさせて  
いただきますのでお気軽にお申し付けください。